

【山崎主宰の俳句】

ゆきこ
幸子

山崎 聰

ねむ咲いて一切は遠いまぼろし
夜がきてやや青白い夏野菜
七月七日だれもいないから雨降る
楼蘭も火星も砂漠ポーチュラカ
地底から軍歌が湧いて日本の夏
熱帯夜神さまあつまって小声
ヒロシマの日のあくる日の幸子の忌
神ほとけどこにもいない日の八月
蟬の木にもっとも近く次男の木
平和がいちばん夏鳥の赤いくちばし